

千葉教育

千葉の子どもたちの未来のために

萩

平成28年度
No. 639

8・9月号

特集 学校の防災教育 ～子どもの命を守るために～

○シリーズ 現代の教育事情

東北大学災害科学国際研究所教授 佐藤 健
文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課
県教育庁教育振興部学校安全保健課
旭市教育委員会

○提 言

児童文学作家

今西 乃子



千葉県総合教育センター

◆学校自慢

礼節と規範を重んじる学校～挨拶・返事・そうじ・歌声を合言葉に～ 山武市立成東中学校長 越川 幸夫

◆提言

「命の授業」で伝える、自己肯定感と人としての幸せ 児童文学作家 今西 乃子 …2

シリーズ！ 現代の教育事情 学校の防災教育 ～子どもの命を守るために～

- 防災教育が学校教育に定着するために必要なこと 東北大学災害科学国際研究所教授 佐藤 健 … 4
- 文部科学省による防災教育の取組 文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課 … 6
- 大規模地震に備えた、学校における防災教育の取組について 県教育庁教育振興部学校安全保健課 … 8
- 旭市の防災教育について 旭市教育委員会 …10

私の教師道

- 学校を創る 「内郷ならではの教育」と人材育成 佐倉市立内郷小学校長 田辺 直美 …12
- 学校を支える 生徒指導の機能を生かした学校運営の取組～「チーム鏡子中」による日々の生徒指導実践から～ 銚子市立銚子中学校教頭 小関 宏昌 …14
- 学校を動かす 「学校を動かす」≦「学校が動く」 県立津田沼高等学校教諭 後藤 浩一 …16
- 研修を生かす 「観」を磨く～長期研修を終えて～ 袖ヶ浦市立昭和小学校教諭 南 啓介 …17
- 授業を創る 理科って面白い！ 木更津市立岩根小学校教諭 斉藤 照恵 …18
- 子どもを知る 子どもたちに自信を付けさせること いすみ市立東小学校教諭 浅野 誠 …20
- 子どもを知る 1年を振り返って 県立安房特別支援学校鴨川分教室教諭 花城 綾香 …20

活・研究 長期研究生からの報告

- 小学校編 「自分らしさ（個性）」をテーマにした道德学習プログラム
～多様な心理学的アプローチを援用した授業づくりを通して～ 市原市立白幡小学校教諭 森岡 里佳 …21
- 中学校編 生徒が自ら表現を追究することのできる題材開発
～身近な素材を生かした系統的な造形活動を通して～ 茂原市立南中学校教諭 山口 晋 …24
- 特別支援学校編 重複障害児のコミュニケーションを育てる授業作りのプロセスの検討
～アセスメントにもとづく集団学習場面での支援を考える～ 県立四街道特別支援学校教諭 中村 陽子 …27

情報アラカルト

- 「県立学校改革推進プラン・第3次実施プログラム」について 県教育庁企画管理部県立学校改革推進課 …30
- 「決定！平成27年度魅力ある県立学校づくり大賞」 県教育庁企画管理部県立学校改革推進課 …32
- 「千葉県から全国へ」～平成27年度児童生徒科学論文・工夫作品より～ 県総合教育センターカリキュラム開発部科学技術教育担当 …33
- 使ってみよう！ICT～ICT活用事例集の紹介～ 県総合教育センターカリキュラム開発部メディア教育担当 …34

学校 NOW！

- 学校歳時記 アクティブ・ラーニングの展開 教育創造研究センター所長 高階 玲治 …36
- 笑顔をとりとどせ 組織的な生徒指導体制の在り方～前任校での取組から～ 柏市立手賀東小学校教諭 藤田 豪司 …38
- 千葉歴史の散歩道 奈良・平安時代の人たちの生活と文字資料 県教育庁教育振興部文化財課発掘調査班・上席文化財主事 黒沢 崇

道標

学校の防災教育～子どもの命を守るために～

東日本大震災から5年が経過した今年4月、熊本県を中心とする大地震が起こった。交通機関が麻痺し、停電、断水等によってライフラインが絶たれ、学校は避難所となったが、何日も食べ物や物資が行き渡らない事態も起こった。東日本大震災と熊本地震では、地震の原因も被害の状況も違う。もし、熊本地震のような直下型の大震災が、本県でも起きたとしたら、東日本大震災の時とは異なる被害の状況にも対応しなければならぬだろう。今後、いつ起きるか分からないこのような災害に備えて、学校はどのように防災教育を進めていけばよいのか。

平成25年3月、文部科学省から学校防災のための参考資料『「生きる力」を育む防災教育の展開』が刊行された。これを基に防災教育を進めてきた中で、熊本県における大地震は起こった。計り知れない自然の恐ろしさと日々の防災教育の重要性を感じている。本県では、子どもたちの「生きる力」の向上を目指し、

避難所生活を想定した体験活動である「防災キャンプ」を実施するなどの防災教育が進められている。これらの震災を教訓に防災教育の重要性が高まっている。

第3回国連防災世界会議（平成28年3月14日開催）の防災教育交流国際フォーラムにおいて、今後10年の取組を示す仙台宣言が採択された。この宣言の中に、「防災教育はすべての防災対策の礎である。自然災害を乗り越えるには、過去の経験、先人の知恵を学び、家庭・学校・社会において協働で日頃から実践し育んでいく私たち一人一人の能力にかかっている。その力を組織的に高める試みが防災教育である。」とある。

想定外の事態が起こったとき、子どもたちが他者を意識しながら、自分にできることを判断し、行動していく力こそが命を守ることにつながる。本号では、子どもたちの命を守るために、学校は地域社会とともにどのように防災教育に取り組むべきかを考える。